



ミルク一号が引く馬ソリに乗りはしゃぐ子どもたち

市と市観光協会主催の「ニムオロ冬の祭典」が総合運動公園で開かれ、家族連れなど昨年より100人多い約4、600人の市民が詰めかけました。今年が悪天候のため、1日順延となつての開催となりましたが、当日は好天に恵まれ、一番人気の航空自衛隊根室分屯基地の協力で制作された全長20mの氷のすべり台では、子どもたちの行列が途切れる

## 好天に恵まれ冬の遊びに満喫

—2013「ニムオロ冬の祭典」2/10—

ことなく、2回、3回と挑戦する姿が見られました。

また、おなじみとなった遊覧ポットやシャンシャン馬そりも多くの人気を集め、今回初開催となった障害物を越え



子どもたちの歓声が絶えない1番人気のすべり台

てゴール競い合うちびっこかけっこでは、25人が挑戦し、友達と競い合いながら雪山を乗り越えていく子どもたちの姿に、会場から大きな声援が送られていました。

今年で5回目を迎えた「根室ギネスに挑戦！」のジャンボメニューでは、大きな鍋で作られたキャラメルコーンが約300人に振る舞われ、昨年に引き続き、根室おさかな普及委員会が用意したタラの三平汁は、1時間ほどで無くなる盛況ぶりを見せていました。訪れた子どもたちは、さまざまな冬の遊びを体験し、会場は笑顔と笑い声で溢れていました。

## 早期返還を求め「原点的地」からの叫び

—2013「北方領土の日根室管内住民法会」2/7—

2月7日「北方領土の日」に北対協主催の根室管内住民大会が、総合文化会館大ホールで開催されました。

33回目を迎えた大会には、根室管内1市4町の住民約千人が一堂に会し、第一部では、元島民や後継者3人の決意表明や、元島民後継者の先導によるシュプレヒコールが行われ、参加者はこぶしを突き上げながら「北方領土を返せ！」と叫び、早期返還を訴えました。

第二部では、根室管内中学生9人による弁論発表と、ふじいあきらさんによるマジックショー、北方領土デジタル紙芝居が上演され、次代を担う返還運動後継者が着実に育っていることを感じられました。



## 母校への想い歌にのせて

—歯舞地区4小学校合同閉校式典2/2—

3月をもって閉校となる歯舞地区4小学校の合同閉校式典が、総合文化会館大ホールで開かれ、児童や教職員、地域住民ら約430名が出席し、長年地域に親しまれてきた母校の閉校を惜しみました。

式典では、長谷川市長など来賓から閉校にあたっての贈る言葉が述べられた後、各校の児童がステージへ登壇。代表児童から母校への思いが込められたメッセージの発表と、全校児童と教職員による元気いっぱい校歌斉唱が行われ、校旗が返納されました。

子どもたちはそれぞれの地域に根ざした母校の魂を胸に春から新たな学び舎で学校生活をスタートしていきます。



## 地域に愛される病院へ

—新病院仮開院にあたっての院長訓示1/29—

新市立根室病院の仮開院に先立って、東浦勝浩院長から大会議室に集まった医療スタッフや事務職員80人に対して訓示が行われました。

院長は、昨年11月の新病院完成後から進められてきた開院準備の労をねぎらった後、改めて「新病院の仮開院をひとつの契機として、皆さんで力を合わせて、当院の基本理念である、市民に愛され、心の支えとなる病院の実現を目指して新たな決意をまい進してほしい。」と決意を示し、「それでは、皆さん笑顔で患者様をお迎えしましょう。」と職員を激励。職員は、院長の言葉を胸に刻みながらそれぞれの持ち場へと向かいました。

